

熊野神社古墳(桶川市)

右手が熊野神社古墳



境頂に社殿が建つ



説明板がある



4世紀後半築造の円墳

埼玉県指定史跡 熊野神社古墳

(昭和42年3月28日指定)

熊野神社古墳は、川田谷地域の荒川沿いに多く分布する古墳の1つで、河川交通上の重要な位置にあります。

墳形は円墳で、昭和58年度に行われた調査によって、直径38m、高さ6～8.5m、周溝の幅14～16mであることが確認されました。

粘土槨（粘土で槨を覆って安置したもの）と想定されている埋葬施設は、昭和9年、墳頂部の社殿改修の際、偶然に発見され、玉類、石製品類、筒形銅器など、畿内の古式古墳と共通する多くの副葬品が出土しました。当時の出土遺物は国の重要文化財に指定され、現在は埼玉県立歴史と民俗の博物館で保管展示されています。また横川市歴史民俗資料館では複製品を展示しています。

出土した遺物などからみて、古墳の年代は4世紀後半ごろと推定され、埼玉県内では比較的古い時期に築造された古墳と考えられています。

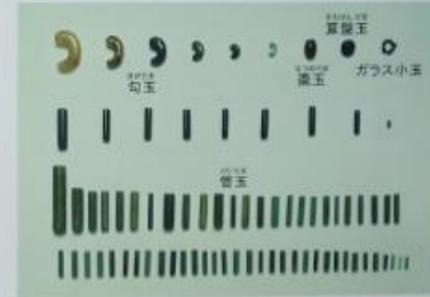
平成21年12月

埼玉県教育委員会 横川市教育委員会

Kumano-Jinja-Kofun (mounded tomb)

The burial mound is circular and it has a diameter of 38 meters, 6-8.5 meters high, and the ditch surrounding the settlement tomb is 14-16 meters wide. The coffin was discovered accidentally on the top of a mounded tomb when people were rebuilding the shrine's pavilion in 1928. The remains yielded many possessions which were buried with a dead person, such as beads, stone objects and cylindrical bronze objects. They were designated as cultural properties of national importance.

Judging from archaeological remains, the mounded tomb is assumed to have been constructed in the late 4th century.



熊野神社古墳出土遺物

くまの じんじゃ こふん
埼玉県指定史跡 熊野神社古墳

(昭和 42 年 3 月 28 日指定)

熊野神社古墳は、川田谷地域の荒川沿いに多く分布する古墳の1つで、河川交通上の重要な位置にあります。

墳形は円墳で、昭和 59 年度に行われた調査によって、直径 38m、高さ 6 ~ 6.5m、周溝の幅 14 ~ 16mであることが確認されました。

粘土槨（粘土で棺を覆って安置したもの）と想定されている埋葬施設は、昭和3年、墳頂部の社殿改修の際、偶然に発見され、玉類、石製品類、筒形銅器など、畿内の古式古墳と共通する多くの副葬品が出土しました。当時の出土遺物は国の重要文化財に指定され、現在は埼玉県立歴史と民俗の博物館で保管展示されています。また桶川市歴史民俗資料館では複製品を展示しています。



出土した遺物などからみて、古墳の年代は 4 世紀後半ごろと推定され、埼玉県内では比較的古い時期に築造された古墳と考えられています。

平成 21 年 12 月

埼玉県教育委員会 桶川市教育委員会

Kumano-Jinja-Kofun (mounded tomb)

The burial mound is circular and it has a diameter of 38 meters, 6-6.5 meters high, and the ditch surrounding the settlement tomb is 14-16 meters wide. The coffin was discovered accidentally on the top of a mounded tomb when people were rebuilding the shrine's pavilion in 1928. The remains yielded many possessions which were buried with a dead person, such as beads, stone objects and cylindrical bronze objects. They were designated as cultural properties of national importance.

Judging from archaeological remains, the mounded tomb is assumed to have been constructed in the late 4th century.



くまの じんじゃ こふんしゆつど いぶつ
熊野神社古墳出土遺物

南東から見上げる



北東から見上げる





境頂にある熊野神社社殿



右手に石碑が立つ



昭和3年に社殿改修の際に出土した副葬品が重要文化財(当時は国宝)に指定されたことを記念する石碑



社殿右側を見る



社殿裏手



こんな石造物もあった







参考ホームページ

http://saitamano.blogspot.jp/2012/06/blog-post_9159.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/15_okgw/kumano.html

<http://www.bell.jp/pancho/travel/saitama/kumanojinia%20kofun.htm>

<http://www.knet.ne.jp/~ats/t/hist/s1/kumano.htm>

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/okegawa_kumano/

